

行政視察報告書

令和 2年 2月 4日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 栗尾順三  議員印
議員印 議員印
議員印 議員印

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 大分県別府市議会

住 所	別府市上野口町1-15
電 話	0977-21-1547
視察案件	おくやみコーナーについて
期 日	令和 2年 1月 27日 (月) 13時30分 から 15時00分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	-----

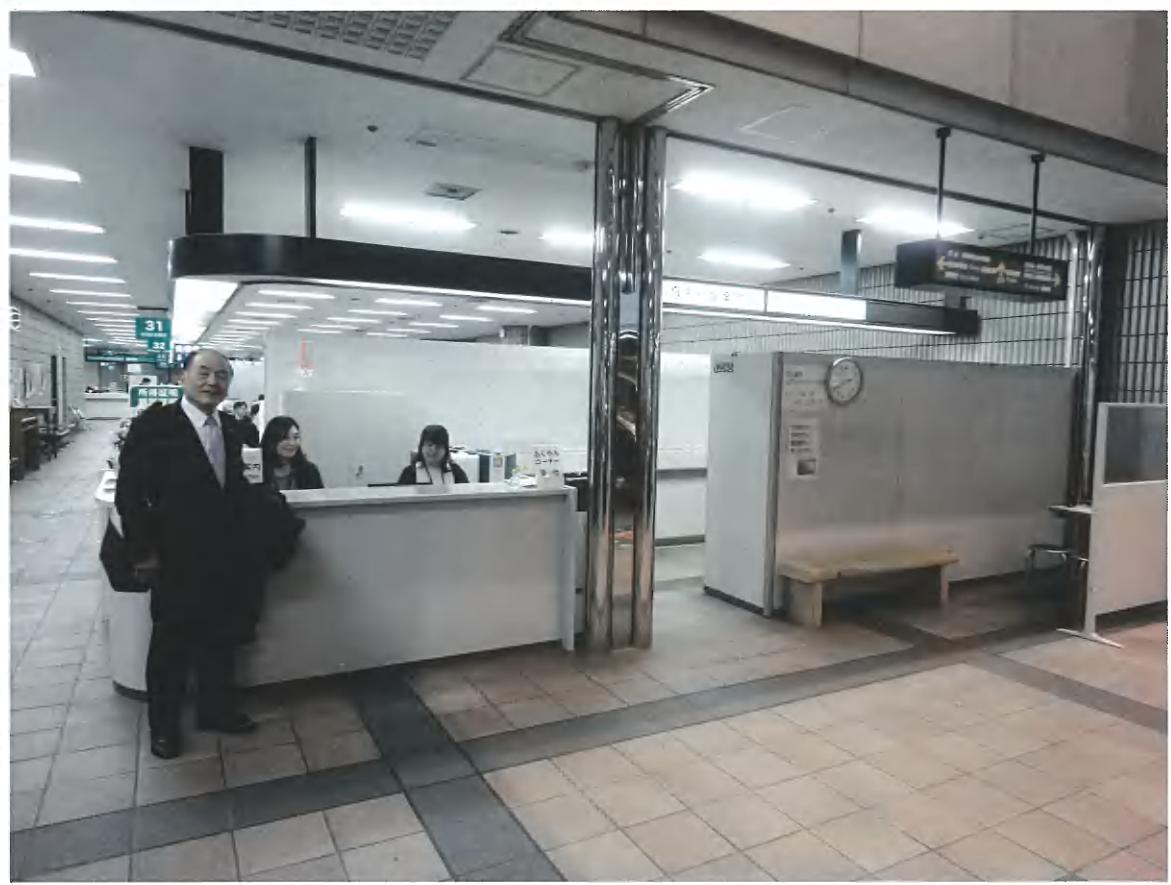
概要	<p>(1) おくやみコーナー設置(平成28年5月16日開設) 死亡届・・どこに行ったらよいわわからない、どこに行っても同じことを聞かれる、何枚も書類を書かされるといった不便さを解消する方法を若手職員によるプロジェクトチームを作り検討して開設。 お客様シート・・遺族が記載し、コーナー職員の入力作業により届出書を一括作成。データは関係課で情報を共有できる。 どこにいくか・・日々、死亡者データを抽出し関係課と共有し、各課が案内の要・不要を事前確認し、おくやみコーナーが案内に利用。担当課の事前準備が可能となり手続きの時間が短縮された。</p> <p>遺族の流れ・・①各課の職員がコーナーに出向く。(ワンストップ) ②案内した各課を遺族が回る。(情報共有できているため、事前準備ができている。)</p> <p>(2)開設に係る経費 お客様シートは、職員による開発のため経費は不要。コーナーを作るための備品購入費と非常勤職員2名分の入件費が必要となった。</p> <p>(3)その他 郵送対応も可能としている。・・コーナーが各課に連絡し、必要書類をまとめる。 市役所以外でも手続きが必要な可能性の参考書類も一覧表を準備・交付。</p> <p>(4)所感 本市でも庁舎が分散し、市民にとってわかりにくいため、別府市の取組みは、参考になり、同様のシステムを実現することにより、利便性の向上に役立つものと感じた。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】 大分県中津市議会

住 所	中津市豊田町14番地3
電 話	0979-22-0394
視察案件	買物支援事業の取組みについて
期 日	令和 2年 1月28日(火) 10時00分から11時30分まで
応対者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	-----
概 要	<p>(1)事業実施の経緯 旧山国町は、市の山間部にあり、急速に過疎高齢化が進み、また、平成20年に町内唯一のスーパーが閉店となった。代替のスーパーを誘致するも、住民ニーズと一致せず閉店。買物弱者が増大した。こういった状況から買物支援事業に取り組むことになった。</p> <p>(2)買物支援調査・試験店舗運営の実施 全戸聞き取り調査を実施し、その必要性を確認する。試験店舗を2週間運営し、店舗開設に向けて実証実験を行う。既存の個人経営の商店との調整も行った。</p> <p>(3)店舗運営 複合文化施設コアやまくに物産館（山国支所の隣の施設）で、「みんなのお店やまくに」を運営。生鮮食品を中心とした食料品・飲料・日用品など全200品目を販売。店舗へのアクセスとして、町バスのフリー乗降を導入。</p> <p>(4)移動販売事業の実施 町内の店舗では、精肉などの生鮮食品を常時取り扱う店舗がなく、中津市中心部や日田市までの移動時間・距離が高齢者には負担が大きい。 そのため、買物の利便性の確保及び地域コミュニティーの活性化を目的に移動販売事業を実施し、町の生活機能を維持する。 山国町全域を2台体制で週2回巡回する。生鮮食品を中心に、菓子類、調味料、冷凍食品など200アイテムを販売。</p> <p>(5)経費 事業費13,061千円（補助対象経費10,000千円）のうち3／4を県補助金でまかう。</p> <p>(6)所感 本市でも、商店がない地域があり、買物困難者は、今後増加するであろう。そうした中で、この中津市の取組みは、参考にすべき取組みであると考える。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

視察状況写真

大分県別府市議会関係



大分県中津市議会関係

